雄武町

令和8年度全国学力・学習状況調査　雄武町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:2校、児童数:27人　中学校数:1校、生徒数:22人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

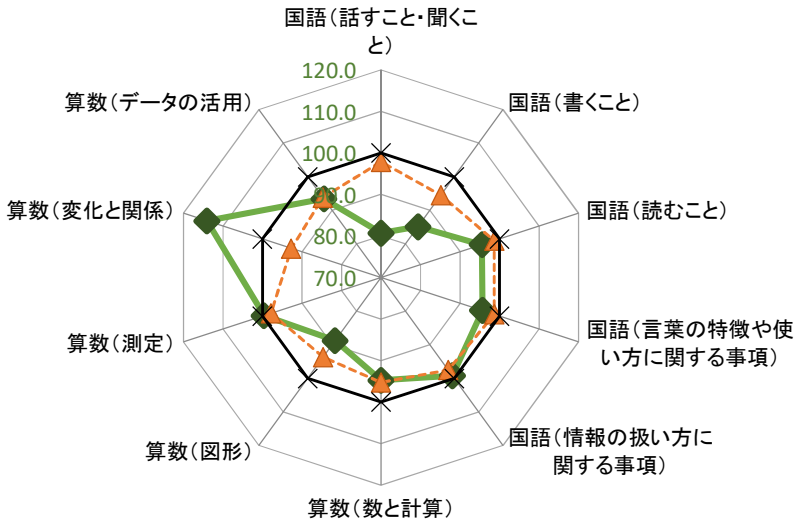
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

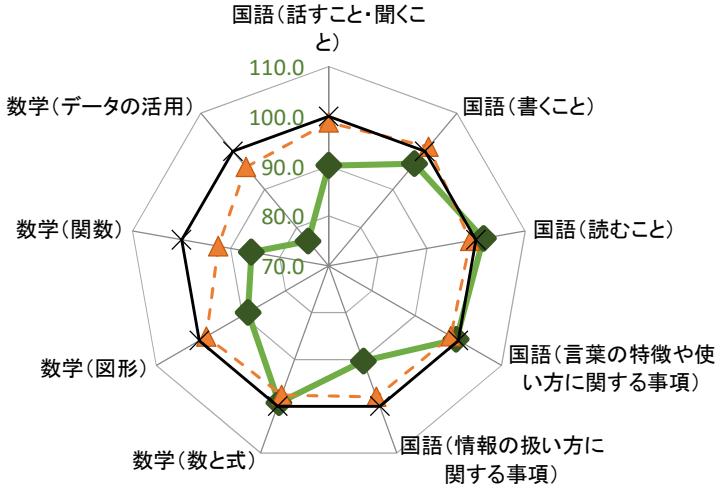
※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
雄武町	56	53	62	50.6	452
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校

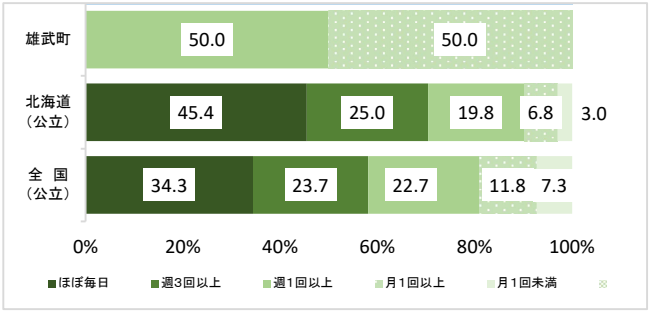


中学校

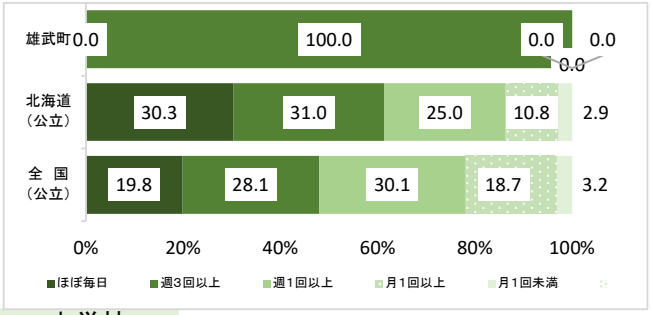


○ 質問調査の状況

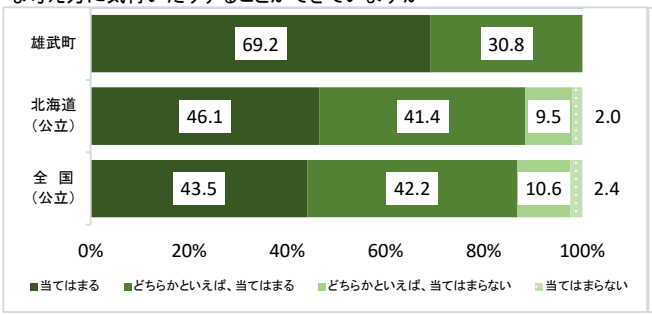
小学校
＜学校質問＞
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



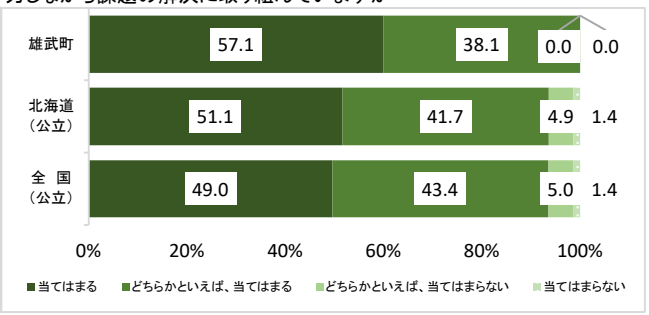
中学校
＜学校質問＞
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



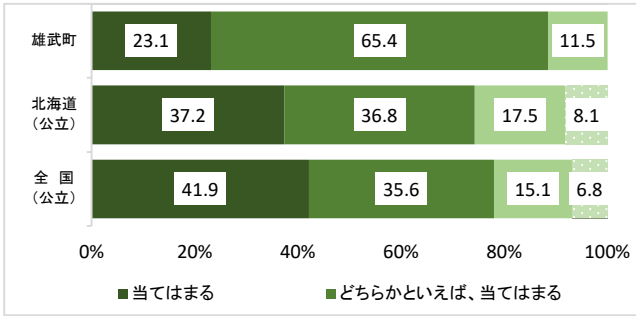
小学校
＜児童質問＞
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



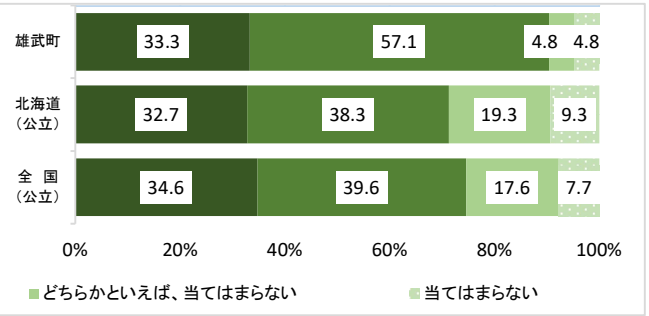
中学校
＜生徒質問＞
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



小学校
＜児童生徒質問＞
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校



○ 調査結果の分析

・小学校において、児童同士のやりとりの場面でのタブレットの活用回数は多くないものの、学級の友達との間で直接話し合う活動を十分行っていることにより、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることが当てはまると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をよく使ったことにより、授業や学校生活で、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・小学校算数の平均正答率が全国及び全道を若干下回っているが、近接している状況であり、算数の授業内容がよくわかる・どちらかといえばわかると回答した児童の割合が全国及び全道を上回っていることが要因の一つとして考えられる。また、中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、数学の授業がよく分かると回答した生徒の割合が、全国を下回っていることが原因と考えられる。

○ 今後の改善方策

・全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた授業改善の推進

・ICTを活用した効果的な学びの推進及び家庭学習習慣の確立

・教職員の研修活動を奨励する教職員教育振興事業等の推進

・9年間の学びをつなぐ小中一貫した学力向上の推進